

## 医療法人財団慈生会野村病院 予防医学センターを利用された受診者様へ

野村病院 予防医学センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、予防医学センター受診者の過去の検査結果をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

<b>対象となる方</b>	2018年4月1日から2023年3月31日までに当施設の間ドックを受診された方のうち、前年度にも受診歴のある受診者様
<b>研究課題名</b>	人間ドック受診者の節酒方法の違いが生活習慣と健診データに及ぼす影響についての検討 (倫理委員会承認番号 J2023-007)
<b>単独・他施設</b>	野村病院予防医学センター 単施設研究
<b>主任研究者</b>	医療法人財団慈生会 野村病院 予防医学センター 茅根有希
<b>当センターの共同研究者</b>	医療法人財団慈生会 野村病院 予防医学センター 新田明日香 医療法人財団慈生会 野村病院 予防医学センター 赤塚紀子 医療法人財団慈生会 野村病院 予防医学センター 小川和雅 医療法人財団慈生会 野村病院 予防医学センター 瀬谷彰
<b>本研究の目的</b>	1年の間に飲酒習慣に変化のあった受診者様が生活習慣と健診結果にどのような影響を及ぼすのかを検討します。
<b>研究の背景</b>	飲酒習慣が肝機能障害の他、生活習慣病にも関係しており、節酒によりそのリスクを軽減させることができるとの研究報告がなされています。しかしながら、節酒方法の違いによる健診結果や生活習慣への関連性についての研究は多くありません。人間ドックでは毎年飲酒習慣の問診を行っており、また各種の検診データも保存されています。2年間の飲酒習慣(飲酒量・飲酒日数)の各種検査結果や飲酒以外の生活習慣への関連を解析し、より効果的な飲酒指導への活用を考えております。
<b>利用する情報</b>	問診票の飲酒に関する項目、他生活習慣・既往歴(診断名・年齢・治療状況) 健診結果項目：体重・BMI・腹囲・血圧・脂質・血糖・尿酸・腎機能・ 肝機能値、胃バリウム・胃内視鏡・上腹部超音波検査
<b>研究実施期間</b>	病院長承認日～2027年3月31日
<b>個人情報の取り扱い</b>	お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては削除を行い、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究実施後5年間保存いたします。その後、個人が特定できる記録や受診者IDとの対応表などは破棄されます。個人が特定できない研究の解析結果は破棄されません。本研究に関わる記録・資料の保管責任者は野村病院予防医学センター茅根有希となります。
<b>研究の方法等に関する資料の閲覧について</b>	本研究対象者の方とご家族の方で希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。
<b>相談窓口 お問い合わせ先</b>	医療法人財団慈生会 野村病院 予防医学センター 茅根有希 電話 0422-47-4848 (代表)
<b>備 考</b>	